

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、_：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般レストラン（店長） 通信会社（総務担当）	お客様の様子 販売量の動き	・お盆当たりから3世代にわたる客が増え、気軽にお金を使っている。 ・海外旅行者が増加しており、景気は良くなっていると感じている。
	やや良く なっている	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来店客数については、前月の前年比108%に比較して今月は95.8%と低迷しているが、客単価については前月の100.2%の横ばい状態から、今月は108.7%と大幅に回復し、全店舗でも前年比100%を達成しており、上向きの傾向にある。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・恵まれた天候にもかかわらずビールの売上は減少したが、来店客が大幅に増加したことにより、売上を支えた。
		自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・客数自体はそれほどの変化はないが、当社の取り扱うタイヤやナビゲーションなどの主力商品に動きがあり、売上全体を押し上げている。
		その他専門店【スポーツ】（店長）	単価の動き	・売上や客数の増加には繋がってないが、客単価が若干増加している。 ・単価は高くとも商品が良ければ買うという傾向は続いている。
		その他専門店【カメラ】（地域プロ）	販売量の動き	・社会的には若干の業績向上が続いているが、コストを抑える事による利益増のため、手放しに喜べない。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・大会物や集会旅行などが増える時期であり、先月調査時より売上が伸びている。来客数も、3か月前よりはやや増加傾向にある。
		パチンコ店（総務担当）	来客数の動き	・酷暑ということもあり、集客数の増加が目立った。
	住宅販売会社（経理担当）	販売量の動き	・新規発売物件のモデルルームへの来場者数は増加しており、契約戸数もほぼ予定通り推移している。	
	変わらない	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・秋物発売当時は売行きが良かったが、厳しい残暑のため売上が今一つ伸びなかった。しかし、前年よりも売上は増加した。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・猛暑の影響により、例年に比べ秋物などプロパー商品の動きが悪く、それに伴いブーツの売上が昨年比の8割程度になっている。 ・3月の商品がかなり売れ残っているため単価を落として販売しており、売上は落ちている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・消費者の買い回り傾向が強くなり、来客数は増加しているが、客単価の低下が依然続いたままで、回復の兆しがみえない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・販売単価は前年比約93%の単価で推移しているが、販売点数、客数についてはいずれも103%前後で推移しており、変化は見受けられない。
		スーパー（店舗運営担当）	販売量の動き	・来店客数は前年の103%であるが、競争店との買い回り客の増加により、買上点数の増加はみられない。売上実績としては、前年の98.69%である。
スーパー（管理担当）		販売量の動き	・近所に業務用スーパーなども開店したが、だいぶ落ち着いてきた。販売量もさほど変化が見られない。	
スーパー（経理担当）		販売量の動き	・猛暑の影響でアイスクリームなどの利益率の低い商品の売上は増加したが、利益率の高い商品の売上は落ち込んだ。	
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・7月に比べ8月は飲料などの売上が伸びず、全体としては売上が落ちている。		
家電量販店（店長）	来客数の動き	・7月は、猛暑のためエアコンなどの季節商品が好調で全体でも堅調だったが、8月は、季節商品が大幅に鈍化、テレビに関してはオリンピック需要で好調ではあるものの、パソコン関連商品や冷蔵庫などの白物家電商品が苦戦したため、全体として若干の減少で推移した。		
家電量販店（副店長）	販売量の動き	・販売台数や金額からみて、OA商品は低調、AV商品は堅調、白物商品はやや回復傾向という状況である。全体的に前年並みという状況で推移してい		

乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・8月の販売量は、前年に比94%と大変厳しい状況である。来店者数も前年と比較し、大幅に減少している。	
乗用車販売店 (総務担当)	単価の動き	・依然として小型乗用車の受注は好調だが、大型乗用車の方も若干だが上向きである。	
乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・新規の来店客数が増えない状況が続いている。土・日展示会においても拠点当り6組前後の状況が続いている。	
住関連専門店 (広告企画担当)	お客様の様子	・顧客の検討期間が非常に短くなってきている。景気の良いときには、検討期間が長くなる傾向があり、「価格上昇の前に」という思いが汲み取れていた。逆に短くなっているということは、「まだまだ価格が下がっていつている」と顧客が思っているからだと推測している。	
一般レストラン (店長)	単価の動き	・客数は前年並みだが、先月から発売を再開した牛肉鉄板焼メニューのせいか、客単価が大幅に上がってきている。BSEのため仕入れが高騰しているのので売価も高くせざるをえなかったが、思いのほか動いている。	
都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・高校総体の効果を期待していたが、実際は予想をはるかに下回り、売上は前年を下回った。	
旅行代理店 (経営者)	販売量の動き	・受注量は増加しているが、競争が激しいために単価が低下し、利益が減少している。	
旅行代理店 (営業担当)	単価の動き	・ここ3か月、ほぼ継続して、高額商品が売れている。	
タクシー運転手	販売量の動き	・7月では前年と比べて売上が上回ったが、8月に入ってからオリンピックや台風の影響で、一時的な要素ではあるが、売上はマイナスになってい	
タクシー運転手	来客数の動き	・夏休みにもかかわらず、観光客が例年より少なかった。	
通信会社 (経営者)	お客様の様子	・加入契約数がここ数か月の実績から低下したままであり、かつ解約も増加しており、純増加数が低迷したまま推移しており、増加の兆しが見えない。	
その他レジャー施設 [温泉センター] (営業企画担当)	来客数の動き	・日帰り温泉部門は、盆が土日に重なったことから総じて休暇期間が短くなったこと、及び気温が高かった理由からか客数が伸び悩み、前年比2桁ダウンと8月度としては最低の状況だった。一方、温泉ホテル部門は前年比微増の客数と売上を確保して明暗が大きく分かれた。	
設計事務所 (経営者)	販売量の動き	・販売量は増加しているが、個々の仕事の規模が小さいため、全体的に景気が上向いているとはいえない	
住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・今月の来場者数は、過去2か月間より若干上向いているが3か月前の状況とほぼ変わらない。顧客の反応はあまり芳しくなく、成約金額なども抑え気味な状況が続いている。	
やや悪くなっている	百貨店(購買担当)	お客様の様子	・先月の終わりから盆前までは、食料品や婦人服を中心にセール品の動きが好調であったが、盆過ぎに例年通りセール品から秋物へ移行したところ、急激に客足が鈍化し売上はかなり厳しい。
	百貨店(売場担当)	お客様の様子	・酷暑と台風などの影響で、客数が大幅に減少している上、秋物の動きも非常に悪い。
	百貨店(販売担当)	お客様の様子	・昨年と比べて売上は増加しているが、セールは好調でもプロパーは前年の7割と低迷している。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・前半は猛暑の影響で売上が減少していたが、20日以降は涼くなった影響で需要が増加し、若干持ち直してきている。
	衣料品専門店 (地域ブロック長)	販売量の動き	・猛暑の影響で夏物処分は順調であるが、秋物の売行きが悪い。
	衣料品専門店 (販売促進担当)	来客数の動き	・猛暑のため客数が伸び悩んでおり、バーゲンでのTシャツは売れているが、プロパー商品では苦戦している。
	家電量販店 (予算担当)	販売量の動き	・オリンピックの影響で映像関係の売上は伸びたものの、売上構成で大きいパソコンの不振が響き、売上が若干落ちている。

		乗用車販売店 (サービス担当)	販売量の動き	・前年対比で新車の販売台数が90%、中古車が80%の状態である。
		その他飲食 [ハンバーガー](経営)	来客数の動き	・猛暑とオリンピックで客足が遠のいた。昨年に比べ客数が二桁近く落ちている。
		都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・ビジネス客の予約は堅調に入ってくるが、団体予約が非常に少ない。
		ゴルフ場(営業担当)	来客数の動き	・平日と土日の来客数の格差が顕著に現れており、平日がかなり減少している。
		設計事務所 (経営者)	販売量の動き	・客単価の低下及び購買量が減少している。
		設計事務所 (職員)	販売量の動き	・最近まで休耕田へのマンションの建設・販売ラッシュがあり、売れ行きも好調であったが、現在では、建設・販売ラッシュも一段落といった感じであり、少しでも割高感がすれば売れ残っているものも
	悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・来街者数は変わらないが、入店者は減少しており、客単価も減少している。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・盆明け以降の来客の様子は特売品目当てで、未だ秋冬物は購入していない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・地元での高校総体開催、オリンピックのため客数が大幅に減少し、売上も落ちている。
企業 動向 関連	良くなっている	輸送用機械器具製造業(経理担当)	取引先の様子	・取引先が好調で、他社を含めどこまでの増産に対応できるか確認してきており、最大生産能力での受注になりそうである。
	やや良くなっている	化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・先月と大きな変化はなく、生産量、出荷量共に増加傾向にある。社内は全般に高稼働率であるが、デフレ圧力に加え物流費・原燃料費などの高騰により利益が上がりにくい状況である。
		金属製品製造業(総務担当)	取引先の様子	・受注量は非常に好調で、さばき切れない状況であり、嬉しい悲鳴である。
		輸送業(統括)	受注量や販売量の動き	・8月はお盆休みが長かったにもかかわらず、6、7月に比べて出荷量が増加しており、収入の伸びがある。
		輸送業(総務担当)	取引先の様子	・夏らしい夏だったので農作物の状態が良い。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・顧客の声で明るいものも多く、また取り扱う荷物の量も増加しつつある。
		金融業(業界情報担当)	取引先の様子	・輸出を中心とした主力車の販売好調を背景に、生産はフル操業を継続している。単価引下げ要請は厳しいが、量産効果で増益基調を確保する。設備投資にも積極姿勢である。
		金融業(営業担当)	取引先の様子	・今まで設備投資など何もしなかった企業が、徐々に更新しようとする動きが出てきた。
		不動産業(経営者)	取引先の様子	・取引先の状況などによると、多少、金融関係の貸出しが緩やかになった傾向がある。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・求人出稿が増加傾向にある。
	変わらない	食料品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・自社は様々な製品を製造しているが、製品によっては生産率が一桁に減少した物がある一方、稼働率が100%以上に上昇した物もあったので、差し引きで見たとこ、あまり良い伸び率ではない。
		化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・売上高は前年比100%以上と順調に推移しているが、収益は横ばいである。販売価格の改善が難しい状況で苦心している。
		窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・生産水準も飛び込み受注があるなど堅調な水準であり、時間外労働も夏休みの関係で多い水準で推移している。
鉄鋼業(総務担当)		受注量や販売量の動き	・鋼材需要が堅調さを継続している。国内においては、自動車、造船、電機を中心とした製造業向けなどが、国外においては、自動車、家電などの東南アジア向けが堅調さを継続させている。	
その他製造業[スポーツ用品](総務担当)		受注量や販売量の動き	・オリンピックの関係もあり一部関連商品には好調な物もあるが、全体的にスポーツ用品の国内の消費動向は低調なままで、受注量は伸び悩んでいる。	

	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・価格面でますます競争が激しくなり、正当な利益が確保できない現状がある。
	通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・法人向け通信サービスの受注状況は、データ利用に関して専用線からVPN方式への移行が進み、音声についてもIP化が広がりつつあり新しいサービスの受注量が増えているが、利益は減少する傾向は変わらない。
	通信業（社員）	受注量や販売量の動き	・既存顧客の受注継続分は昨年並み程度に達成できそうだが、全体的に横ばいで傾向している。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・売上高、利益ともに目立って良かったり、悪かったりしているものは、どの業種も見当たらない。例年、夏場は大抵の業種の売上が低迷する時期だが、それなりになんとか凌いでいる状況である。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き
		新聞社〔求人広告〕（広告営業担当）	求職者数の動き
		職業安定所（職員）	求人数の動き
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子
		新聞社〔求人広告〕（担当）	求人数の動き
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き
		職業安定所（職員）	求職者数の動き
		民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き
	悪くなっている	-	-